

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン1	
第4回	合わせたイメージを基に演奏する。/チェストボイスの発声を習得。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。スコアの書き方/楽曲のセクションを学ぶ。インスト音源を使用して歌を録音する。
第5回	再度共に考察してディスカッションを行う。/ヘッドボイスの発声を習得。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。リズムトレーニング(2) 4ビート、8ビート、16ビートの違いを身体を使って習得する。ト音記号Cスケール1小節の初見/ヘ音記号Cスケール1小節の初見4小節のコードトラックを作り歌を録音する。
第6回	曲のイントロやBPMを決める。/胸腔、口腔、鼻腔の共鳴。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。歌うために必要な声帯、声帯周りの筋肉の動かし方を学ぶ(1) 主にチェストボイスの発声を習得する。ト音記号Cスケール2小節の初見/ヘ音記号Cスケール2小節の初見4小節のコードトラックを作り歌を録音する。
第7回	インターの場所や拍数を決める。/ 母音と子音の意識。/PBLに基づいたサウンドロゴ作成。歌うために必要な声帯、声帯周りの筋肉の動かし方を学ぶ(2) 主にヘッドボイスの発声を習得する。ト音記号Cスケール4小節の初見/ヘ音記号Cスケール4小節の初見4小節のコードトラックを作り歌を録音する。
第8回	アウトロの拍数や終わり方を決める。/音域拡大のメソッド。/マイクを使用した音声収録。ト音記号Cスケールの8分音符交えた1小節の初見/ヘ音記号Cスケールの8分音符交えた1小節の初見共鳴、発音(1) 胸腔、口腔、鼻腔の共鳴させる位置の違いを理解し、発声に活かすことができる。4小節のコードトラックを作り歌を録音する。
第9回	再度アレンジした譜面作成。確認。/音域拡大のメソッド。/音声を加えたサウンドロゴ制作。共鳴、発音(2) 母音と子音の意識の持ち方の違いを理解し、発声に活かすことができる。ト音記号Cスケールの8分音符タイ交えた(シンコペーション) 2小節の初見/ヘ音記号Cスケールの8分音符タイ交えた(シンコペーション) 2小節の初見4小節のコードトラックを作り歌を録音する。
第10回	メトロノームを使い歌のリズムとピアノのリズムを合わせる。/広い音域で歌うアーティストを知る。/音声を加えたサウンドロゴ制作。ト音記号Cスケールの8分音符タイ交えた(シンコペーション) 4小節の初見/ヘ音記号Cスケールの8分音符タイ交えた(シンコペーション) 4小節の初見音域拡大のメソッドを学ぶ(1) 長期的な声のトレーニング法がわかる。譜面を見ながら4小節のメロディーを打ち込む。
第11回	全体のイメージを俯瞰で聞きまとめ、ピアノと抑揚を合わせる。/広い音域で歌うアーティストを知る。/Adobe Photoshopを作品制作に活用。音域拡大のメソッドを学ぶ(2) 長期的な声のトレーニング法がわかる。ト音記号Cスケールの16分音符交えた1小節の初見/ヘ音記号Cスケールの16分音符交えた1小節の初見譜面を見ながら4小節のメロディーを打ち込む。
第12回	抑揚、細かい入りのタイミングなど修正。/スケール練習。/Adobe Illustratorを作品制作に活用。ボイストレーニングにおけるスケール練習(1) 音程をしっかりと理解した上で、正しい音程をとることができる。ト音記号Cスケールの16分音符タイ交えた(シンコペーション) 2小節の初見/ヘ音記号Cスケールの16分音符タイ交えた(シンコペーション) 2小節の初見譜面を見ながら4小節のハモリを打ち込む。
第13回	講師より演奏へのフィードバック。/スケール練習。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。ボイストレーニングにおけるスケール練習(2) 1オクターブ半のスケールを使って各度数の間隔を感じながら歌うことができる。ト音記号Cスケール、8分音符と16分音符を交えた4小節の初見譜面を見ながら4小節のハモリを打ち込む。
第14回	中間発表会。/Adobe Premiere Proを作品制作に活用。復習(1) 前期のトレーニングを復習し、ここまでの成果を理解出来る。テストインスト音源を使用して歌を録音する。
第15回	まとめ、フィードバック、個々に後期への課題発表。前期のまとめまとめ 前期全体の振り返り前期のまとめ